

# 大阪・関西万博で実施された資源循環の取組





## サーキュラーエコノミーに関する指標：リデュース・リユースでごみ減量 資源循環に係る排出量推計と目標設定（会場運営関係）

- 2005年の愛・地球博や直近のアミューズメント施設の排出量から何も対策をしなかった場合の廃棄物の排出量を種別に推計（BAU）
- 使い捨て食器の使用量削減やマイボトルの持ち込み推奨等による排出量の削減目標を掲げ、BAUに対して削減対策実施後の排出量を推計
- サブストックヤードに持ち込まれた2025年8月末時点の実績を下表に追加（赤字）
- 廃棄物はサブストックヤード～メインストックヤードにて分別が不十分なものは一部再分別され、またSSYを経由しない廃棄物もあるため、赤字内は速報値
- 最終的にはサブストックヤードを経由しない廃棄物を含め、会期中の廃棄物全体を取りまとめ報告予定

種別	BAU		削減目標			2025年8月末時点（速報）		リサイクル目標	
	排出量 [t]	削減量 [t]	削減率 [%]	削減後量 [t]	原単位 [g/人]	排出量 [t]	原単位 [g/人]	リサイクル量 [t]	リサイクル率 [%]
缶	42.8	-	-	42.8	1.5	39.0	2.3		
びん	611.5	-	-	611.5	21.7	161.2	9.6	699.3	100.0
業務用缶	45.0	-	-	45.0	1.6	13.9	0.8		
ペットボトル	562.8	188.2	30.3	433.5	15.4	208.6	12.5	433.5	100.0
ペットボトルキャップ	58.8					12.1	0.7		
発泡スチロール・発泡トレイ	5.6	139.9	25.0	419.8	14.9	3.1	0.2	419.8	100.0
プラスチック類	554.1					119.8	7.2		
段ボール	1,711.7	-	-	1,711.7	60.7	667.0	39.8	1,711.7	100.0
紙類	110.4	61.1	55.4	49.2	1.7	61.3	3.7	49.2	100.0
生ごみ（食品廃棄物）	1,501.2	321.2	21.4	1,179.9	41.8	295.8	17.7	1,179.9	100.0
廃食用油	110.4	-	-	110.4	3.9	76.5	4.6	110.4	100.0
燃やすごみ		721.9							
堆肥化可能な食器類									
割り箸	4,181.4		17.3	3,459.5	122.7	1313.1	78.4	94.6	2.7
木製パレット									
紙おむつ									
燃やさないごみ・混合廃棄物	212.8	10.0	4.7	202.8	7.2	34.4	2.1	19.3	9.5
汚泥（グリスラップ）									
<b>合計</b>	<b>9,708.5</b>	<b>1,442.3</b>	<b>14.9</b>	<b>8,266.2</b>	<b>293.1</b>	<b>3005.8</b>	<b>179.5</b>	<b>4,717.8</b>	<b>57.1</b>

注：四捨五入等により数値が合わない場合がある。BAUは、対策をしなかった場合の排出量推計値

## サーキュラーエコノミーに関する指標：リデュース・リユースでごみ減量

### 万博会場内におけるリデュース・リユースに関する取組例

#### ■ 使い捨て買い物袋の配布対策

- ・ 来場者にマイバッグ持参の呼びかけ
- ・ 出展者・営業参加者にはエコバッグ、手さげの紙袋の販売の義務付け



⇒使い捨ての抑制とプラスチックの利用を削減

#### ■ リユース食器の導入

- ・ 使い捨て食器を多く用いるフードトラックエリアへのリユース食器の導入



⇒使い捨てプラスチック食器の利用を削減

#### ■ マイボトルの利用促進

- ・ 給水スポットを約86か所設置
- ・ 来場者にマイボトル持参の呼びかけ



⇒PETボトルの利用量を削減

#### ■ 食べ切りを呼びかけ、食べきれる量のメニュー提供

- ・ 来場者への食べ切りの呼びかけ
- ・ 小盛メニューなどバリエーションを増やす



⇒食品廃棄物の発生を抑制



## サーキュラーエコノミーに関する指標：リデュース・リユースでごみ減量

### (参考)万博会場内で発生した廃棄物のリサイクル対策例

#### ■ ペットボトルの水平リサイクル

- 使用済のペットボトルをペットボトルに水平リサイクル



出典：PETボトルリサイクル年次報告2023  
(PETボトルリサイクル推進協議会)

#### ■ 生ごみのバイオガス化・堆肥化

- 会場内で発生する食べ残しや非可食部などを会場内でバイオガス化、会場内のコンポスト機で堆肥化、会場外の堆肥化施設にて堆肥化



出典：大阪ガス株式会社

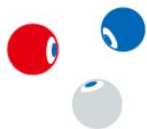
#### ■ 生分解性プラスチックの堆肥化

- フードトラックエリアの一部で使用する生分解性プラスチックを会場内で発生する食品廃棄物と一緒に堆肥化



#### ■ 難再生古紙の再資源化

- 会場内では脱プラ・減プラを求めており、プラスチックの代替素材として紙の利用増が見込まれる
- そのため、リサイクル困難な使用済の紙製食器などをリサイクル



## ◆ 府内のイベント会場におけるリユース食器の導入促進

- ・ 飲食販売を伴うイベント会場において、リユース食器（お皿やカップ）を導入する実証事業を実施し、来場者への啓発や環境効果の測定（ごみ・二酸化炭素削減量）等を行う。
- ・ 実証事業の結果を踏まえて、環境効果や導入時のポイント等を纏めたガイドライン等を作成し、府内のイベント主催者にリユース食器の導入を働きかける。

<対象イベント>

2025年10月26日      FUNKY MARKET（主催：FM802）      など



リユース食器（お皿・カップ）のイメージ

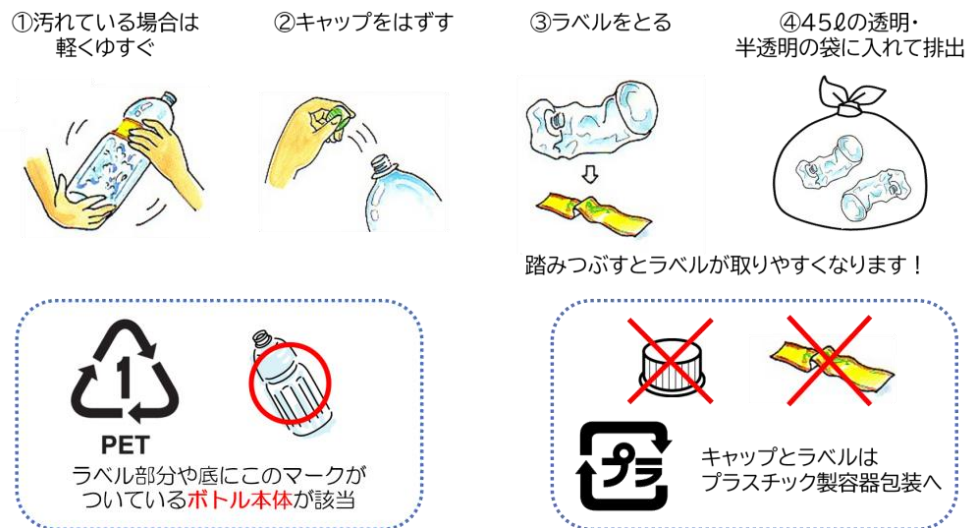
# 大阪府における取組：ペットボトルの水平リサイクル

## ◆ ペットボトル（家庭由来）の水平リサイクルに関する市町村への情報提供

- ・市町村との情報交換会等を通じて、府内市町村における実施状況や取組効果等について情報提供を実施している。
- ・民間事業者と連携して府内の21市町村が実施※、ペットボトルの「ボトル to ボトル」の取組が広がってきている。  
※ 2019年度：1市 ⇒ 2022年度：2市 ⇒ 2023年度：4市町 ⇒ 2024年度：21市町村

## ◆ ペットボトルの3分別の推進（府職員による率先行動）

- ・大阪府職員によるペットボトルの3分別（キャップ・ラベル・本体）を推進している。 ※職場での取組



きれいなペットボトル排出の呼びかけ（河内長野市ホームページ）



### 資源循環と脱炭素に貢献



※使用済みペットボトルからプリアフォーム製造までの工程において

資源循環と脱炭素の効果（サントリーホールディングス(株) ホームページ）